

PRESS RELEASE

報道関係者各位

令和6年5月23日
公益社団法人 日本植物園協会**日本植物園協会ナショナルコレクション認定**
～植物遺産 日本で栽培される貴重な植物を守り、伝える～

我が国には6,700種類を超える野生植物が自生し、それらや渡来植物を元に数多くの観賞用植物や有用植物が作出されてきました。しかし、現在においては、日本の野生植物の約1/4が絶滅危惧種に選定され、古くに作出された栽培品種の多くも失われつつあるのが現状です。

日本植物園協会では、平成29年7月より「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的に、ナショナルコレクション制度をスタートしました。審査に合格したコレクションを貴重な植物遺産「日本植物園協会ナショナルコレクション」として認定し、情報を公開し、コレクションの橋渡しをすることで、長期間安定した保全を推進します。

今回、新たに5件が認定され、令和6年5月23日に開催された日本植物園協会水戸大会（担当園：水戸市植物公園、会場：水戸市民会館）で認定証授与式が行われました。また、5年に一度更新が必要な3件（第1号～3号）も更新認定されました。これまでの22件の認定で、ツバキやツツジ、サクラ等の伝統園芸植物をはじめとする3,371種類がナショナルコレクションとして登録されています。

我が国で栽培される貴重な植物を保全するための当協会の取り組みや、多様な植物コレクションのすばらしさを是非報道等で取り上げていただきたくご案内申し上げます。

○第18号 「京都府立植物園のサクラ品種コレクション」 京都府立植物園（京都府）



京都府立植物園のサクラ品種コレクションは、わが国初の公立総合植物園として長い歴史の中で収集、栽培されてきた186品種からなり、関西圏におけるサクラ名所のひとつとして高い人気を有する。コレクションは開園当時に収集された江戸期に作出された古品種や、京都の各所に残る独自の品種など貴重かつ観賞価値の高いものであり、サクラ栽培品種の歴史性の検証や多様性保全に欠かせない重要なものである。【2024年3月1日認定】

○第19号 「コノフィツム属の野生種コレクション」 須藤 浩（千葉県）



コノフィツム属は1922年に設立されて以来、種間交配等による栽培品種が盛んに作出されるなど、100年近く小型の多肉植物として親しまれてきた。しかし現在、かつての品種が入手困難となり、国内における品種名の混乱も起こっている。また、野生種の絶滅が危ぶまれることから2023年にCITES附属書Ⅲに指定された。本コレクションは、国内外の研究者、愛好家、ナーセリーから収集した産地データのある野生種を主体とした71種92系統からなり、我が国における生息域外保全と新たな品種開発のための貴重な遺伝資源として重要である。

【2024年3月1日認定】

コノフィツム・ピロバム・ムスコシパピラツム

PRESS RELEASE

○第 20 号 「水戸のウメコレクション」
水戸市植物公園・茨城県土木部都市局都市整備課（偕楽園）（茨城県）



ウメ '白難波'

水戸は、御三家の1つ水戸徳川家所縁の地であり、水戸藩九代藩主徳川斉昭によってウメゆかりの地となった。本コレクションは、水戸にちなんだ伝統ある品種、文化や歴史的な由来のある品種、花や枝などの形質に特徴がある品種等からなる130品種である。江戸時代の文化や歴史、文献や梅図譜で紹介された古典的な品種を多く保有、保存、公開しており、江戸時代のウメを知り、保全する上で重要なコレクションである。【2024年3月1日認定】

○第 21 号 「新宿御苑 日本産絶滅危惧植物コレクション」
環境省自然環境局新宿御苑管理事務所・一般財団法人国民公園協会新宿御苑（東京都）



オリヅルスミレ

環境省新宿御苑管理事務所では、2002年に新宿御苑を国内の希少な野生植物種の保護増殖の拠点と位置づけ、2006年に日本植物園協会植物多様性保全ネットワーク加入以後、関東地域野生植物保全拠点園、特定植物保全拠点園、種子保存拠点園として、全国の植物園や協力団体と連携し、種子採取や保存に取り組んでいる。現在、新宿御苑の温室で栽培している野生絶滅種4種を含む全193種は、日本の絶滅危惧植物のうちの9.1パーセントを占めることから、国内の希少重要なコレクションと位置付けることができる。【2024年4月25日認定】

○第 22 号 「茅ヶ崎市氷室椿庭園 氷室氏作出ツバキコレクション」 茅ヶ崎市（神奈川県）



ツバキ '八千代獅子'

三井不動産の元副社長であり、植物愛好家であった氷室捷爾（ひむろ しょうじ）が、昭和30年代に収集した多数のツバキを交配して、作出した40品種のツバキ栽培品種のコレクション。これらのツバキは、すべて国際ツバキ協会に登録され、そのうち17が農水省の種苗登録品種である。コレクションは国登録有形文化財である茅ヶ崎市の旧氷室家住宅主屋の庭園に保存されており、まとまった氷室氏作出のツバキが残るのは氷室椿庭園のみである。【2024年4月25日認定】



National
Collection
JABG National Plant Collection
Certification System

日本植物園協会 ナショナルコレクション委員会 [担当] 倉重
114-0014 東京都北区田端 1-15-11 ティーハイムアサカ 201
TEL 03-5685-1431
Email jabg-nc@syokubutsuen-kyokai.jp
HP <http://www.syokubutsuen-kyokai.jp/nc/>

